

3. 事業の方向性・方針

小倉城周辺エリアを魅力ある観光・文化の名所とするために、事業の目的、ターゲットの視点に基づき、3つの事業の方向性を定め、7つの事業の柱のもと事業を推進します。本事業は、平成28年度から平成30年度までの3年間を重点期間として取り組みます。

テーマ

北九州 小倉ならではの歴史的・文化的な資源を活用した
集客力や回遊性のある観光・文化の名所づくり

事業の方向性

方向性1 北九州・小倉の歴史、文化資源を活かした新たな魅力づくり

このエリアには、小倉城や小倉城庭園などの歴史資源、また松本清張記念館、文学館などの文学資源があり、また宮本武蔵や佐々木小次郎といった歴史的有名人にまつわるエピソードや、松本清張など多くの著名人を輩出した歴史、小笠原流礼法や小倉祇園太鼓といった伝統文化など、多様な資源の宝庫となっています。

これらの見どころや北九州とのかかわりを改めて掘り下げ、その価値を最大限に引き出し、新たな魅力の創出を図ります。

さらに、このエリアならではの景観や地域資源を活かし、国内外の観光客や市民の知的欲求、好奇心や探究心を満たす歴史的、文化的な場所づくりを行います。



方向性2 来訪者の回遊性・にぎわいや交流が生まれる空間づくり

多くの魅力的な施設が集積している強みを活かし、このエリアが持つ資源を、小倉の歴史や文学、文化というテーマで繋ぎ、来訪者に分かりやすく、興味をもってもらえるよう、物語性を持たせて紹介し、エリア全体での魅力や回遊性を向上させます。

あわせて、来訪者を受け入れる体制づくりや、この土地ならではの資源であるお堀や川辺を活用した休憩スポット、散策し、くつろぎたくなるような仕掛けづくりを行い、来訪者と市民がふれあい、にぎわいや交流が生まれる空間としていきます。



方向性3 「北九州・小倉」ならではのおもてなし・シビックプライドの醸成

国内外からの来訪者を、この地に古くから伝わる小笠原流礼法や小倉祇園太鼓、小倉織やぬか漬など、北九州・小倉ならではのおもてなしで迎え入れ、この土地の歴史・文化に触れていただくとともに、来訪者がまた来たいと思うような取り組みを実施していきます。

また、このエリアの持つ魅力ある情報を市民・子どもたちにも発信していくことで、郷土の誇りやおもてなしの心を広げていき、来訪者との交流を通じて、「シビックプライド」の醸成を促す取り組みを行います。



事業の方針

歴史ゾーン

事業1：歴史資源の発掘、再生による集客拠点づくり

歴史資源の活用による名所づくりや、展示等のリニューアルにより、集客のための魅力アップを行う。

事業2：既存資産を活用した歴史を感じる魅力空間づくり

樹木等の再整備、ライトアップ、和風オープンカフェなどにより、小倉城のイメージを引き出した非日常空間の創出を行う。

文学ゾーン

事業3：北九州の文学と出会う空間づくり

点在する文学・文化施設を繋ぎ、情報発信などによる連携、魅力的な空間づくりを行う。

市民の憩いと交流ゾーン

事業4：にぎわい・交流拠点の整備

勝山公園の広場空間を中心として、ふれあい、交流が誘発される環境の整備、イベントなどの開催による、にぎわいづくりに取り組む。

全域での取り組み

事業5：回遊性・アクセス向上のための仕組みづくり

総合案内サインの整備や、史跡解説の充実、施設連携による情報発信など、来訪者の受入れ体制の充実を図る。

事業6：情報発信・受入れサービスの充実

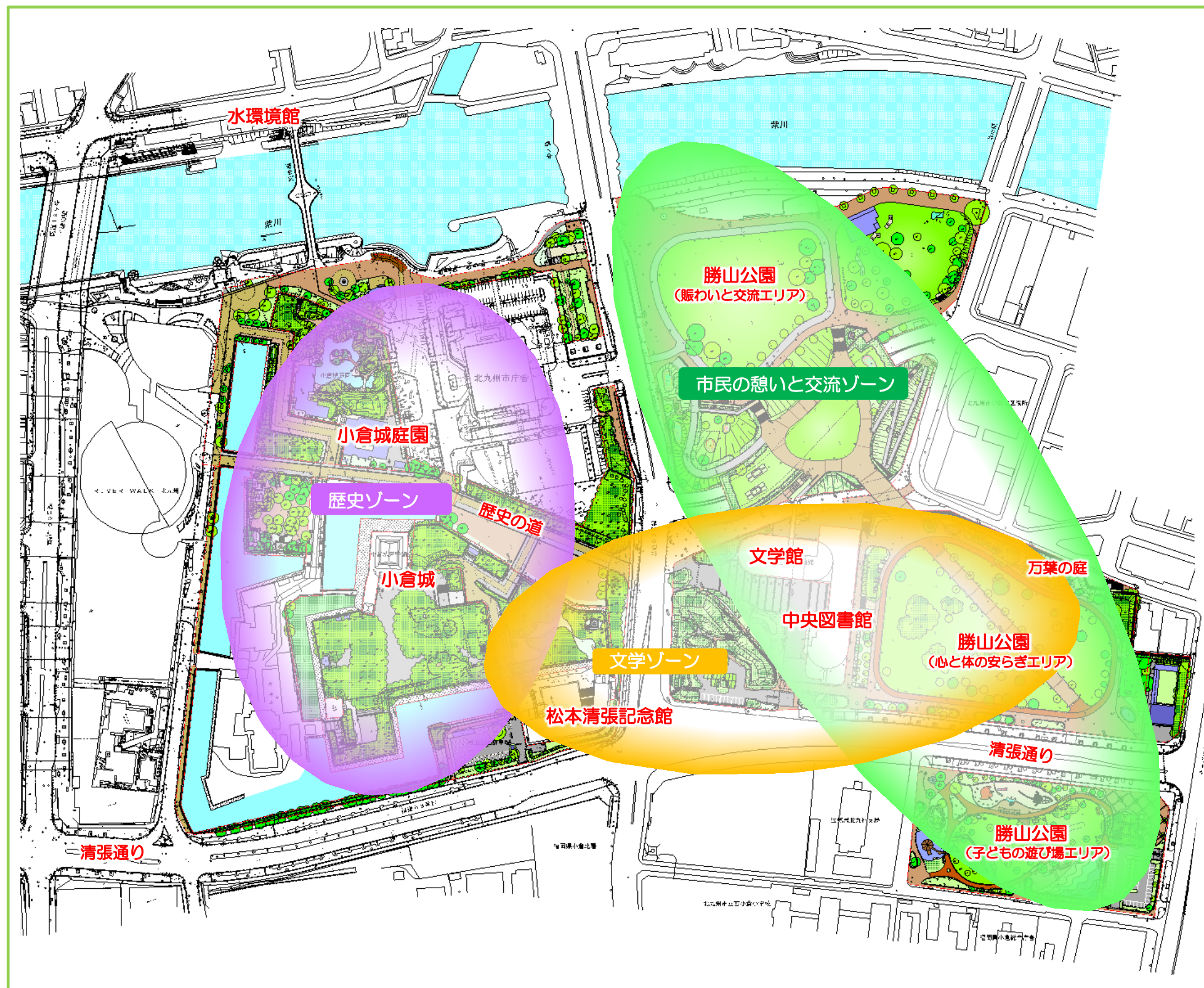
観光情報の発信、案内サービスの充実、情報インフラの整備などにより、効果的なPR広報活動を行う。

事業7：「北九州 小倉」ならではのおもてなしの充実と人材の育成

観光客など来訪者を「北九州 小倉」ならではのおもてなしにより迎え入れ、小倉（北九州）の魅力や日本の文化を伝える取り組みと仕組みづくりを行う。

4. エリア内のゾーンの考え方について

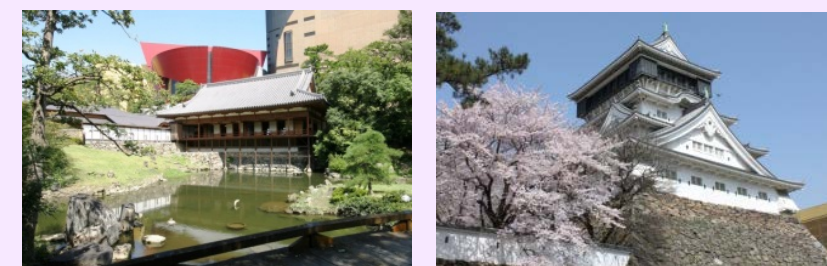
小倉城周辺エリアにおいて、それぞれの魅力の拠点となる歴史施設、文化施設、公園緑地のもつ特徴や、想定される利用者のニーズに合わせて3つのゾーンの設定を行います。



歴史ゾーンの考え方

小倉城の歴史や小倉ゆかりの歴史上の人物など、小倉の歴史をテーマとして、新たな魅力の創出やリニューアルなどにより、来訪者のためのにぎわい創出を行うゾーン。

観光客など来訪者を迎え入れるくつろぎ空間づくりや、「北九州ならではのおもてなし」、歴史的イメージを活かした非日常の体験により、小倉の魅力ある歴史を伝え、再発見してもらう場所とします。



文学ゾーンの考え方

本市ゆかりの「文学」をテーマに、文学館や松本清張記念館などの文化施設とゾーンに点在する文学碑などを繋ぎ、来訪者が気軽に郷土の文学に触れ、文化的な空間の中でくつろぎ、憩えるゾーン。

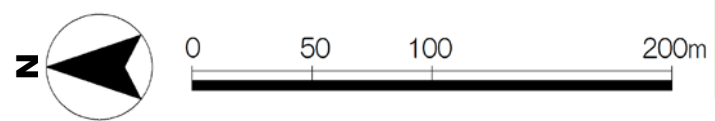
文学に関連したソフト施策などにより、文学との出会いの空間づくりを行います。



市民の憩いと交流ゾーンの考え方

紫川の水辺や芝生広場の緑空間を活かした市民に親しまれるゾーン。

イベントやレクリエーションなどのソフト施策を展開し、人々が憩い、交流する場所としていきます。



IV. 取り組む事業の内容

1. 取り組む事業の項目

事業の方向性に基づいて、7つの事業の柱のもと、以下の具体的な取り組みを実施していきます。

事業 1 歴史資源の発掘、再生による集客拠点づくり

取り組む事業

小倉城・小倉城庭園の展示などのリニューアル
着見櫓の活用
地元ゆかりの歴史上人物の掘り起し（宮本武蔵、佐々木小次郎など）
小倉城大手門などの復元の検討

事業 2 既存資産を活用した歴史を感じる魅力空間づくり

取り組む事業

小倉城城内（本丸、松の丸等）の樹木等再整備
小倉城庭園のリニューアル（樹木の整理や池の改修など）
和風オープンカフェなど
小倉城・小倉城庭園のライトアップ

事業 3 北九州の文学と出会う空間づくり

取り組む事業

文学碑、万葉の碑など情報発信の強化
中央図書館に新設するカフェを活用した文学の発信
雑木林の活用による魅力的な空間づくり
「文学の街・北九州」の発信
文学館と新設される子ども図書館との連携

事業 4 にぎわい・交流拠点の整備

取り組む事業

勝山公園の民間活力によるにぎわい強化
平和を祈念する空間の整備
水環境館のリニューアルの検討

事業 5 回遊性・アクセス向上のための仕組みづくり

取り組む事業

紹介パネル、案内・誘導サイン、パンフレットなどの整備
大型団体バスの駐車スペースの整備
施設間の連携、回遊を生み出す仕組みづくり

事業 6 情報発信・受入れサービスの充実

取り組む事業

エリア全体のPR 広報活動の強化
市役所本庁舎の利活用

事業 7 「北九州 小倉」ならではのおもてなしの充実と人材の育成

取り組む事業

「北九州 小倉」ならではのおもてなしの充実・人材の育成

2. 各事業の方針

事業の方向性に基づき、7つの取り組みの柱を定め、小倉城周辺エリアにおいて、具体的な取り組みを実施していきます。

歴史ゾーンにかかわる取り組み

事業 1 歴史資源の発掘、再生による集客拠点づくり

小倉城築城から近代における地域の特色ある歴史的な魅力を発掘し、小倉城など歴史資源に焦点をあてた掘り起しや、地元ゆかりの歴史上の人物の磨き上げを行います。

さらに、地元で愛される「小倉祇園太鼓」などを観光資源として活用することにより、誰もがこの地を訪れてみたいくなるような魅力アップを行います。

また、今後、城門の復元や先進技術の活用、迎賓館としての新たな機能の導入など、新たな魅力づくりの検討を行います。

取り組みの事業例

■事業例 1：小倉城・小倉城庭園の展示などのリニューアル

小倉城と小倉城庭園の施設や展示内容を更新し、集客力の強化を図る。

例えば、城内の展示では、展示映像コンテンツを小倉城の歴史や城の特徴などの内容に更新し、あわせて表示を多言語に対応させる。

さらに、来訪者へのおもてなし機能の充実や、北九州市ならではの技術・先進性と伝統文化の融合、ロボットの活用なども視野に入れる。

また、小倉城庭園の展示スペースでは、貴重な文化財等の展示を可能にし、企画内容の充実を図る。



■事業例 2：地元ゆかりの歴史上人物の掘り起し（宮本武蔵、佐々木小次郎など）



錦絵「宮本無三四 がんりう島に武勇をあらわす」
(北九州市立 自然史・歴史博物館所蔵)

地元ゆかりの歴史上の著名人にスポットを当て、集客のための観光コンテンツとし、情報発信していく。

特に、宮本武蔵や、小倉藩の剣術師範であったと伝えられる佐々木小次郎に光をあて、既存の宮本武蔵誠心直道（二天一流）の碑とあわせて、小倉との関わりについての解説パネルや像などの設置を行う。

事業 2 既存資産を活用した歴史を感じる魅力空間づくり

小倉城、小倉城庭園などの既存の歴史資産を活用し、時を感じられる風景づくり、雰囲気づくりを行います。

特に、「桜の城」であった小倉城の桜の名所づくりを柱として、来訪者が四季を感じる事ができる魅力的な空間づくりを行います。

また、花や木の管理には、市民が関わり、育て引き継いでいくことで、まち全体でのおもてなしの心の醸成を図ります。

また、歴史的雰囲気を活かした夜の魅力的な空間づくりや、集客や話題づくりのための夜のイベントなどにより、新たな夜の魅力空間を創出します。

取り組みの事業例

■事業例 1：小倉城城内（本丸、松の丸等）の樹木等再整備

「桜の城」として名高い小倉城のブランド価値を一層高めるため、効果的な桜の植樹を行う。

また、春の桜だけでなく、秋の美しい紅葉など四季の移り変わりによって表情を変える場所づくりとして、紅葉などの植樹も行う。

あわせて、城内全体の歴史的魅力と回遊性の向上を目的として、和を意識した再整備を行う。

さらに、城内に点在する石碑、野戦重砲、第十二師団司令部正門跡などについても再整備を行い、これに併せ、近代における小倉城の歴史なども案内板で紹介する。



「桜の城」イメージ



小倉城庭園横通路の紅葉のイメージ

■事業例 2：和風オープンカフェなど



歴史の道・小倉城への誘客と、にぎわい空間づくりのため、歴史の道と三階菱横スペースで、オープンカフェスタイルによる飲食物（抹茶、和菓子等）の提供を行う。

また、カフェ周辺の屋外 Wi-Fi 環境の整備や、にぎわいづくりのための和風雑貨のフリーマーケットなどを開催する。

事業3 北九州の文学と出会う空間づくり

北九州市は、多くの文学者を輩出している「文学の街」です。小倉城周辺エリアは、中央図書館・文学館や、松本清張記念館などの施設が点在し文化資源の集積した場所でもあります。

これら文化資源を、文学をテーマとしてストーリー性をもたせて繋ぐことで、北九州の文学と出会うの空間づくりを行います。

文学愛好家や観光客を対象とした文学ツアーなどイベントの開催や、文学ゾーンの文化資源をつなぐ施設の整備など、市民が文学に気軽にふれることができる取り組みを行います。

取り組みの事業例

■事業例1：雑木林の活用による魅力的な空間づくり

中央図書館・文学館と松本清張記念館をつなぐ導線として位置づけ、「文学」をテーマに再整備を行う。

雑木林を活用しながら、文学作品や俳句の季語に使われた草花の植栽など、趣のある園路をつくる。

また草花に関連する作品や作家の解説板、観光客や愛好家の憩いの場として四阿^{あずまや}なども設置する。



中央図書館と松本清張記念館の間に位置する整備が望まれる雑木林

■事業例2：「文学の街・北九州」の発信

小倉都心部にある史跡と文学館・松本清張記念館などを巡る文学ツアー、文学散歩コースの紹介や、歩きやすいサインの整備などを実施する。

これにより、各施設の魅力をストーリーとともにPRする。



小倉城周辺 文学碑マップ



俳人・杉田久女の文学碑